

DMC-L1K ファームウェアアップデートについて

ファームウェアバージョン 2.0 より、以下の機能を追加および変更しました。
カメラ本体の取扱説明書とあわせてお読みください。

多重露出機能を搭載しました。

撮影メニューに [多重露出] を追加しました。

この機能を使うと、1 枚の画像に 2 回または 3 回の露光を行ったような効果を得ることができます。

- ライブビュー機能を使うと、写真全体の構図を確認しながら撮影できます。
- ファインダーで撮影する場合は、レビュー画像で構図を確認できます。
- 撮影間隔が長くなる場合は、パワーセーブの設定を確認し、途中で電源が切れないようにしてください。

1 [MENU/SET] ボタンを押し、▲/▼ で [多重露出] を選んで ▶ を押す



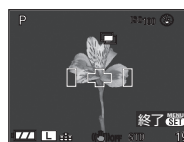
2 構図を決めて 1 枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- コマンドダイヤル (P) または ▲/▼ で [次の撮影]、[撮り直し] または [完了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと以下になります。
 - ・ [次の撮影] : 次の撮影に進む
 - ・ [撮り直し] : 1 枚目の撮影に戻る
 - ・ [完了] : 1 枚目の撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する

ファインダー撮影時



ライブビュー撮影時



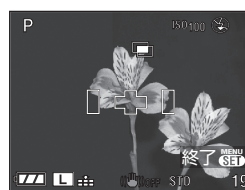
1 枚撮影後



3 構図を決めて 2 枚目を撮影する

- 撮影後、1 枚目と 2 枚目の撮影画像が重なって表示されます。
- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- コマンドダイヤル (P) または ▲/▼ で [次の撮影]、[撮り直し] または [完了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと以下になります。
 - ・ [次の撮影] : 次の撮影に進む
 - ・ [撮り直し] : 2 枚目の撮影に戻る
 - ・ [完了] : 2 枚目までの撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する

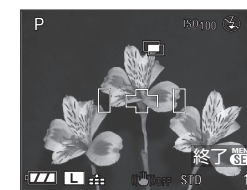
ライブビュー撮影時



4 構図を決めて 3 枚目を撮影する

- 撮影後、1 枚目、2 枚目、3 枚目の撮影画像が重なって表示されます。
- コマンドダイヤル (P) または ▲/▼ で [撮り直し] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、3 枚目の撮影に戻ります。

ライブビュー撮影時



5 コマンドダイヤル (P) または ▼ で [完了] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも決定できます。
- 3 枚目までの撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。





3 枚撮影後



- すべての露光結果をそのまま重ね合わせるため、被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。
- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 撮影時に [MENU/SET] ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。
- 多重露出で撮影される場合は、レンズの OIS スイッチを [OFF] にし、三脚の使用をおすすめします。
- 以下の場合は、多重露出の設定が解除されます。
 - ・ 電源を [OFF] にしたとき（パワーセーブを含む）
 - ・ カードを交換したとき
 - ・ 本機と USB 接続ケーブルを接続したとき
- 以下の機能が使えなくなるなど、一部、機能制限があります。
 - ・ 連写
 - ・ オートブラケット撮影
 - ・ EX 光学ズーム
 - ・ デジタルズーム

手ブレ補正に [MODE3] (流し撮りモード) を搭載しました。

撮影メニューの [OIS モード] に [MODE3] を追加しました。

項目	効果
MODE1 ()	撮影モード時、常に手ブレを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに安定して撮影することができます。
MODE2 ()	シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。より高い補正効果が得られます。
MODE3 ()	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り (一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法) するときに適しています。 

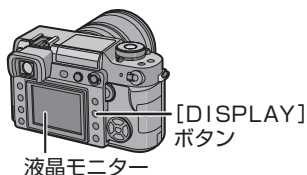


- 以下の場合、流し撮りの効果が出にくくなります。
 - ・夏の日中など、明るいところ
 - ・シャッタースピードが 1/100 より速い場合
 - ・被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合 (背景が流れません)
 - ・本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合
- ファインダー撮影をおすすめします。

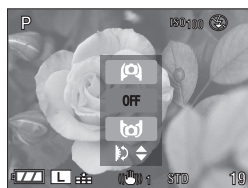
ライブビュー撮影時、ローアングルで液晶画面が見やすいモード (ローアングルモード) を搭載しました。

高い位置から撮影するときに液晶モニターを見やすくするハイアングルモードに加え、低い位置から撮影するときにも液晶モニターを見やすくするローアングルモードの機能を追加しました。

1 [DISPLAY] ボタンを 1 秒間押したままにする

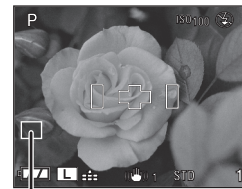




2 コマンドダイヤル () または ▲/▼ でモードを選ぶ





3 シャッターボタンを半押しして、設定を確定する

- [MENU/SET] ボタンを押しても設定を確定できます。



ハイアングルモード: 
ローアングルモード: 

項目	設定内容
 : ハイアングル	高い位置から撮影するときに液晶モニターを見やすくします。前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。(ただし、正面から見ると見にくくなります)
 : ローアングル	低い位置から撮影するときに液晶モニターを見やすくします。地面近くに咲いている花を撮影したり、子どもやペットの目線で撮影するときなどに便利です。(ただし、正面から見ると見にくくなります)
OFF	液晶モニターの画面を通常の明るさに戻します。

ハイアングルモードまたはローアングルモードを解除するには

[DISPLAY] ボタンを再度 1 秒間押したままにすると、手順 2 の画面になります。ハイアングルモードまたはローアングルモードを解除するときは [OFF] に設定してください。





- ハイアングルモードまたはローアングルモードは、電源が切れると (パワーセーブを含む) 解除されます。
- ハイアングルモードまたはローアングルモードは、液晶モニターに表示される画像の明るさを調整しています。被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- 太陽光などが液晶モニターに反射して画面が見えにくい場合、ハイアングルモードまたはローアングルモードの効果がわからないことがあります。この場合は、太陽光を手などでさえぎってご使用いただくことをおすすめします。
- 以下の場合、ハイアングルモードまたはローアングルモードは動きません。
 - ・再生モード
 - ・メニュー画面表示中

絞りリング非搭載レンズ装着時の絞り設定をより簡単にしました。

絞り優先 AE モード [**A**] またはマニュアル露出モード [**M**] で絞りリングのないレンズを使用するときの絞り設定の方法を、[FUNC.1] ボタンを押してコマンドダイヤルを回す操作に加え、以下の操作も可能にしました。

絞り優先 AE モード [**A**]

- 以下のいずれかの操作で絞りを設定してください。
 - ・コマンドダイヤル () を回す ([ダイレクト露出補正] を [OFF] に設定時)
 - ・[FUNC.1] ボタンを押す、コマンドダイヤル () を回す ([ダイレクト露出補正] を [ON] に設定時)
 - ・▲/▼ を押す

マニュアル露出モード [**M**]

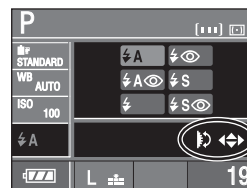
- コマンドダイヤル () を回して絞りを設定してください。

ホワイトバランス(WB)の設定や色温度の変更、ISO 感度、フラッシュなどの設定をカーソルボタンでも操作できるようにしました。また、設定確定までの時間制限をなくしました。

以下のダイレクトボタンを使って設定する機能についての操作を変更しました。

- ・露出補正
- ・フラッシュ設定
- ・フラッシュ発光量調整
- ・ホワイトバランス
- ・色温度設定
- ・ISO 感度
- ・FUNCTION 機能
- ・外部フラッシュ

例：フラッシュ設定時



- 設定内容の選択は、（コマンドダイヤル）に加えて（▲/▼/◀/▶）でも可能にしました。
- 設定確定までの時間制限をなくし、ゆっくりと確認しながら設定できるようにしました。

ホワイトバランスの設定について

ホワイトセット、色温度設定、WB 微調整の設定方法を以下のように変更しました。

■ ホワイトセットをするには

[SET WB] または [SET WB] を選ぶと、新しくホワイトバランスを設定できます。

1 [WB] ボタンを押す

2 コマンドダイヤル () または ▲/▼/◀/▶ で、[SET WB] または [SET WB] を選び、[WB] ボタンを押す



3 白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、シャッターボタンを全押しする



- 多重露出時は、ホワイトセットを行うことができません。

■ 色温度設定をするには

[SET K] を選ぶと、新しく色温度を設定できます。

1 [WB] ボタンを押す

2 コマンドダイヤル () または ▲/▼/◀/▶ で、[SET K] を選び、[WB] ボタンを押す



3 コマンドダイヤル () または ▲/▼ で色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

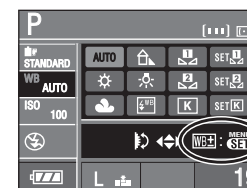


■ WB 微調整をするには

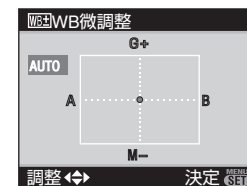
ホワイトバランスを選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、微調整できるようになりました。

1 [WB] ボタンを押す

2 コマンドダイヤル () または ▲/▼/◀/▶ で、撮影状況に合わせたホワイトバランスを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲/▼/◀/▶ でホワイトバランスを微調整し、[MENU/SET] ボタンを押す



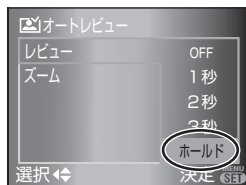
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。（ただし、[SET WB]、[SET WB] または [SET K] では微調整できません）

オートレビューに時間制限のないモードを追加しました。

セットアップメニューの [オートレビュー] の機能を以下のように変更しました。また、RAW ファイルの同時記録時にもオートレビューの設定を有効にしました。

ホールド：撮影後に、撮影画像が表示されたままになります。オートレビュー中に再生ズームとズーム位置移動ができます。

- [ホールド] に設定した場合、ズーム時間の設定は無効になります。
- [ホールド] に設定した場合、オートレビューを解除するには、シャッターボタンを半押ししてください。

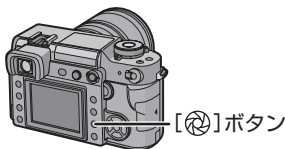


再生ズーム時、ズームしたまま前後の画像送り / 戻しをできるようにしました。

再生ズームのズーム倍率、ズーム位置を保持したまま表示画像を切り換えることができます。

1 再生ズーム中に、[ZOOM]（絞り込み）ボタンを押す

- ズーム位置がロックされます。



2 ◀▶ で画像を送る

◀：前の画像へ ▶：次の画像へ

- ロック状態を解除するには、もう一度 [ZOOM] ボタンを押してください。



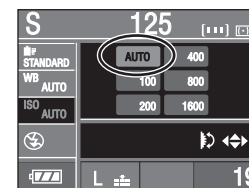
- ロック状態で保持されているズーム位置は、電源が切れると（パワーセーブを含む）解除されます。
- 以下の画像は、ロック状態で画像を表示するとズーム位置が中央に戻ります。[ZOOM] ボタンを押して一度ロックを解除したあと、ズーム位置を移動させてください。
 - ・画像アスペクトが異なる画像
 - ・記録画素数が異なる画像
 - ・回転方向が異なる画像（[回転表示] を [ON] にしている場合）

絞り優先 AE モード [A]、シャッター優先 AE モード [S] でも ISO 感度の [AUTO] を選択できるようにしました。

絞り優先 AE モード [A] 時



シャッター優先 AE モード [S] 時



ファームウェアのバージョン情報をメニューで確認できるようにしました。

セットアップメニューに [バージョン表示] を追加しました。

Ver. バージョン表示：本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。

- レンズを取り付けていないときは、レンズファームウェアは [-.-] と表示されます。

